

**令和元年度**

**企画調整課事務報告**

**企画調整係**

**商工観光係**

**情報通信係**

## ○事業の概要（企画調整課）

令和元年度は山江村制施行130周年を迎えるにあたり、先祖が築いていただいた歴史に感謝し、今後の山江村の活性化につなげるためシンポジウム等様々な記念行事を開催した。

また、令和元年度は、平成27年11月に策定した「山江村人口ビジョン」及び「山江村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる数値目標の検証を行い、一昨年策定した第6次山江村総合振興計画と摺り合わせ、新たな目標を掲げた第2期「山江村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。

平成28年度に整備した合戦峰物産販売所については、地域観光交流の拠点とし、地域の活性化も目的に毎週日曜日開館するようになったが、更なる地域の活性化を図るため、集荷者数を増やす支援策が必要である。

また、やまえ栗の更なる需要拡大とブランディング、生産者の生産意欲を図るため行政、生産者、村民の努力義務を示した「山江村の宝『やまえ栗』条例」を制定した。

1977年にやまえ栗が昭和天皇に献上された9月27日を「やまえ栗の日」とし家庭や学校で食材等に積極的に使用することを呼びかけた。人づくり分野では、住民参画による村づくり組織『100人委員会』の各部会での活動が活発化し、食の提供部会では、「トキの朝市」を開催されたのをはじめ、多くの部会で活動内容が具現化した。

このほか移住・定住対策事業として、堂園地区に整備した宅地分譲地3区画が完売したことをはじめ、体験型宿泊施設「淡島ゲストハウス」、「ほたるの荘」の利用の推進を図った。

# 企画調整係

## 1. 地方創生推進事業

平成27年11月に策定した「山江村人口ビジョン」及び「山江村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる数値目標の検証を行い、一昨年策定した第6次山江村総合振興計画と摺り合わせ、新たな目標を掲げた第2期「山江村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。

併せて、まち・ひと・しごと創生に資する事業を推進するため、地方創生推進交付金の採択を受け、「やまえ栗ブランド力向上推進事業」を行なった。

【令和元年度 地方創生推進交付金】 交付確定額 12,663,825 円

やまえ栗のブランド力向上のため、以下4つの重点目標を定め各種事業を行なった。

- (1) 収穫量の増加と担い手の確保
- (2) ブランディングと情報発信による高付加価値化
- (3) 観光施策の充実と観光客の受け入れ態勢の充実
- (4) 東京大学との共同研究及び人材育成

○ 第2期「山江村まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定

## 2. 山江村住宅リフォーム助成事業

住民の居住環境の向上及び村内の商工業等の活性化を図るため、住民が居住する住宅のリフォームにおいて助成を行った。

(単位：円)

No.	対象必須工事	工事額 (税込)	交付決定額
1	段差解消	1,188,000	200,000
2	公共下水道等接続	2,187,000	200,000
3	公共下水道等接続	575,100	115,000
4	段差解消	2,578,284	200,000
5	段差解消	1,239,840	200,000
6	公共下水道等接続	7,100,000	200,000

### 3. 企業誘致

#### 人吉・球磨企業誘致連絡協議会の活動

人吉・球磨の10市町村が、企業誘致に関する情報を交換し、また、連携して企業誘致を推進することにより、人吉・球磨地域における雇用の場を創出することを目的として活動を実施した。また、次代に合った新たな協議会の名称検討がはじめられた。

#### 【令和元年度の活動実績】

- 運営委員会の定例会を各月開催（11回）
- 熊本県企業立地課との意見交換会の実施
- 人吉球磨の誘致企業関連施設見学（多良木町コワーキングスペース、人吉市おそと、クマリバ）
- 九州管内企業訪問（株式会社富士通九州システムズ、fabbit 福岡他）
- 企業立地フェアでの企業アプローチ（株式会社ハコブネ、糸島よかところラボ他）
- 九州財務局主催「副業・兼業人材」活用セミナー参加

### 4. 再生可能エネルギー事業

平成30年度に策定した「木質バイオマス資源の持続的活用に向けた設備導入計画」実現のため、地域内エコシステム構築事業の支援を受け、地産地消の持続可能なエネルギー社会構築について検討を行った。

また、住宅用太陽光発電システムの設置に対して助成を行った。

- 太陽光発電システム設置費補助金 3件 150,000円

### 5. 広報やまへの発行

「広報やまへ」は、住民へ山江村の政策や住民サービス情報、村内の話題等を伝えることを通じて、住民と行政のパイプ役として重要な役割を果たしている。また、村外にいる山江出身者へも故郷の状況を伝える役目も担っている。

現在、広報誌の内容はホームページ上でもPDF形式により掲載。購読希望者へは有料で送付している。

- 事業費 2,249,022円（印刷・製本）
- 発行部数 1,400部／1カ月
- 発行日 毎月第4金曜日
- 村外購読者数 21名

## 6. 統計調査業務

### (1) 学校基本調査

基準日：令和元年5月1日

### (2) 平成31年工業統計調査

基準日：令和元年6月1日

調査員：1名

### (3) 2020年農林業センサス

基準日：令和2年2月1日

指導員：2名

調査員：20名

### (4) 平成31年度市町村民経済計算

調査対象年度：平成29年度

### (5) 2019年経済センサス基礎調査

調査期間：令和元年6月1日～7月31日

調査員：1名

## 7. 山江村ふるさと応援寄附金

【寄附金内訳】 平成31年3月～令和2年2月寄附

	寄附者の寄附金希望使途事業	金額
1	特産品の開発及び地域産業の振興に関する事業	672,000円
2	高齢者の生活を支援する地域づくりに関する事業	571,000円
3	自然環境保全並びに地域景観の創造に関する事業	733,000円
4	青少年の健全育成及び教育環境整備に関する事業	898,000円
5	伝統芸能並びに文化の伝承及び創造に関する事業	130,000円
6	ボンネットバス「マロン号」の保存及び活用に関する事業	182,000円
7	その他目的達成のために村長が必要と認める事業	10,339,000円
	合計 (1,111件)	13,525,000円

【寄付金活用内訳】

	寄附金使途事業	内容	活用額(円)
1	特産品の開発及び地域産業の振興に関する事業	活用なし	0
2	高齢者の生活を支援する地域づくりに関する事業	活用なし	0
3	自然環境保全並びに地域景観の創造に関する事業	支障木伐採	413,336
4	青少年の健全育成及び教育環境整備に関する事業	山田小樹木剪定	648,648
		スクールバス停留所設置(3か所)	1,188,000
		海外語学研修補助金	1,418,000
5	伝統芸能並びに文化の伝承及び創造に関する事業	文化財標柱(説明用瓦版)	486,000
		文化財マップ(改訂版)	235,400
6	ボンネットバス「マロン号」の保存及び活用に関する事業	ボンネットバス修繕	389,061
7	その他目的達成のために村長が必要と認める事業	130周年記念村勢要覧作成	283,250
		伸和コントロールズ駐車場整備	899,030
		万江小修繕	1,738,800
		山田小修繕	950,400
		山江中教材備品(ミシン等)整備	495,140
		瑞光寺阿弥陀堂移設工事	363,000
合計			9,508,065

8. 土地利用

国土利用計画では、土地の利用について土地の高騰を抑制して、乱開発を未然に防止するため届出制による土地取引を義務付けている。

○ 国土利用計画法第23条第1項による届出件数(10,000㎡以上)

届出件数：2件

無届出件数：1件

## 9. 番号制度に係る各種システム改修及びセキュリティ強化対策

平成27年10月5日より番号法が施行され、平成29年7月から自治体間において情報連携が本格始動した。各業務において情報連携の実施に伴い、基幹系システムの改修を行った。

セキュリティ強化として、マイナンバーによる情報連携に活用される LGWAN 系とインターネット系を分離し、基幹系からの情報持ち出し不可設定等を図り、住民情報流出防止対策など庁内ネットワークの三分割や二要素認証によるログインなどの対策を実施した。

また、熊本県自治体情報セキュリティクラウドサービス（i-Filter）を利用することにより、高いレベルでのセキュリティサービスを受けている。

## 10. 山江村移住定住促進事業

堂園地区宅地分譲地（3区画）の販売を行った。

### ○堂園地区宅地分譲事業

- ・1号地 2,231,000円（252.88㎡）
- ・2号地 2,428,000円（254.49㎡）
- ・3号地 2,372,000円（253.33㎡）

### ○山江村土地購入補助金

移住促進による人口増加及び地域活性化を図るため、空き家バンクに登録の土地を有効活用するものに対して助成を行った。

- ・山江村土地購入補助金 1,000,000円×3件

## 11. 山江村制施行130周年記念事業

村制施行130周年を記念し、各事業を実施。

### ○シンポジウム（企画調整課）

令和元年10月27日（日）開催

- ・山江中学生意見発表「次世代からのメッセージ」
- ・パネルディスカッション「山江の歴史と未来を考える」
- ・写真展示「130年間の大年表 - 今昔写真展 - 」
- ・村内小学生作品展示「未来の私たちと山江村」

○やまええほんの森ブックりまつり（教育委員会）

令和元年10月27日（日）開催

○通り名事業（企画調整課）

坂本人吉線は「万江清流通り」、相良人吉線は「山田マロン通り」に決定

○記念スタンプ作成（企画調整課）

○記念Tシャツ作成（企画調整課）

○100周年記念タイムカプセル発掘式（企画調整課）

令和元年7月23日開催

○芝桜植樹祭（企画調整課）

3,000本植樹（場所：丸岡公園）

○村勢要覧作成 本編2,000部、概要版4,000部（企画調整課）

○記念タオル作成（全戸配布）（企画調整課）

○130周年記念タイムカプセル設置（企画調整課）

○130周年記念看板（横断幕）設置（企画調整課）

役場庁舎に垂れ幕を設置

○広報やまえ縮刷版作成（企画調整課）

○記念写真集発刊（山江村歴史民俗資料館）

○オリジナルナンバープレート交付（税務課）

○くらしの便利帳発行（総務課）

○やまえコールの放送（企画調整課）

個人、団体からいただいた130周年記念メッセージをCATVにて放送

○記念式典（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

## 12. 山江村地域づくり研究所

地域づくり研究所は、山江村の情報をあまねく集め、データ化することで、誰にでも現状の見える化を図り、地域の課題を解決する調査・研究や提言を行うことや、村民生活のあらゆる分野においてICTを活用することで、安心安全な暮らしや、福祉の向上、産業振興による所得の向上、雇用の創出を進めた。

また、地域づくりの実践活動を支援する事業も行っており、全国的に観光地域づくりが進められる中、本村では住民が主体となり地域づくりを行う山江村未来塾100人委員会が幅広い分野で活動している。さらに、これまでの住民主体の地域づくりの活

動を基盤とした観光地域づくりの推進組織として、昨年度誕生した『山江村観光交流促進協議会』もフットパスをはじめとする様々な事業を行っており、地域の活性化につながっている。

東京大学大学院情報学環須藤研究室と ICT の活用についての共同研究は、今年度が最終年度となった。

## (1) 東京大学との共同研究

共同研究負担金：6,997,320 円

### 【研究結果】

- ① 山江村地方創生情報化戦略の進捗状況報告 2019 年度  
(ヒアリング実施：8/27~8/28、12/12~12/13)
- ② 山江村地域づくり研究所年報 2016-2019
  - ・研究所事業概要、調査レポート
- ③ 社会情報学会九州・沖縄支部研究会 2019 の開催（山江村は共催）
  - ・期日：R1. 11. 9 （場所：山江村農村環境改善センター）
  - ・テーマ：地域コミュニティの課題と未来
  - ・研究発表者：
    - 東京大学大学院情報学環 特任講師 並木志乃 氏
    - 熊本県立大学総合管理学部 教授 上拂耕生 氏
    - 熊本県立大学総合管理学部 准教授 飯島賢志 氏
    - 熊本県立大学全学教育推進センター 特任講師 佐藤忠文 氏
    - (一社) 奥球磨スマートタウン研究所 代表理事 横山正人 氏
    - 熊本県立大学大学院アドミニストレーション研究科 出口貴啓 氏
- ④ 地域づくり研究所のホームページ管理
- ⑤ やまえ栗検定 2019 の実施
- ⑥ やまえ栗コンソーシアムの開催
  - R1. 6. 27 第 1 回会議
  - R1. 12. 12 第 2 回会議
  - R2. 2. 28 第 3 回会議【中止】

※茨城県の下飯沼栗生産販売組合長を講師に招き、skype を活用した講演会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

⑦ ミニセミナーの開催

H31. 4. 27 ネットショップの始め方 (参加者:10名)

R1. 6. 23 親子で万江ウォッチング「ドローンを飛ばそう」

(参加者:16名)

R1. 6. 28 食品の加工販売を始めよう (参加者:14名)

R1. 7. 26 【小中学生対象】目指せ!タイピングマスター!

(参加者:17名)

R1. 10. 23 【職員向け】ドローン講座 (参加者:5名)

⑧ 村政モニター

住民ニーズや山江村に関するアンケートにインターネットを利用して回答。

【第1回】テーマ:山江村ホームページ、まるおか号について

回答者:19名

【第2回】テーマ:健康づくり・健康ポイントについて

回答者:33名

【第3回】テーマ:生涯学習、広報公聴について

回答者:24名

【第4回】テーマ:環境とエネルギー、Wi-Fi環境について

回答者:30名

(2) 研究分野

① 村が作成する計画への政策提言

② 山江村のデータ収集

事務報告、観光統計、各種計画、熊本県市町村要覧、栗に関する書籍、栗のレシピ、新聞記事、昔の山江村の写真等

(3) ICT分野

① 情報発信と閲覧分析

【HP】山江村地域づくり研究所、山江村フットパス、やまえ栗公式サイト

【Youtube】山江村地域づくり研究所、山江村フットパス

【Facebook】山江村、山江村地域づくり研究所、山江村未来塾 100人委員会、やまえ栗まつり、山江フットパス

【研究所通信】 広報やまえ 2019.4月号~2020.3月号『地域づくり研究所通信』

#### 【情報メディア会議】

情報媒体として広報誌、HP、CATV や Facebook など複数あり、各情報メディア担当者が会議を開催して集約した情報を発信していたが、より効率的な情報発信を行うため、令和元年10月より「山江村情報メディア連携会議」を設置し、会議において情報を集約・共有し、それぞれの情報メディアで発信する方法に変更した。

#### ② 情報化推進員

村内16地区に1名ずつ設置し各推進員に iPad を貸与している。地域の出来事や困りごとなどインターネットを使って情報を共有する。

- ・委員 16名（任期：R1.5.10～R3.4.30）
- ・会議 第1回 R1.5.10 委嘱状交付、情報化推進員の役割について  
第2回 R2.2.28【中止】

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため。

- ・情報 投稿数：62件、サポート：1件
- ・健康福祉課との連携事業でのサポート 第7区、第16区で実施。

#### ③ 健康福祉課との連携事業

公民館事業に参加する高齢者にやまえ栗検定を活用したタブレットの操作講習及び skype を活用して公民館事業への参加者等の対話を実施。情報化推進員にはタブレット操作のサポート協力を依頼した。

（第7区）日時：R1.6.5 10：00～ 場所：一丸公民館

- ・参加者にタブレットによるやまえ栗検定2019を実施。
- ・Skype を活用し、第6区の公民館事業参加者との対話を実施。

（第16区）日時：R1.6.12 9：30～ 場所：大川内公民館

- ・skype を活用し、第14区の藤田商店とつないだ（買い物支援への活用検討）。

#### ④ GIS

地理情報システムの導入に関し全庁的に調査等を行うため、GISシステム導入ワーキンググループを設置し、システムの特長やシステム導入の効果等に関し調査研究を行った。

#### (4) 人づくり分野

##### ① 山江村未来塾 100 人委員会

山江村未来塾 100 人委員会は、「村民の誰もが元気で楽しく暮らしやすい村づくり」の実現を目指す住民参画による地域づくり組織である。10 部会において分野別に自らの夢と希望の実現に向けて、地域づくり活動を行っている。

【地域づくり活動補助金】 補助金総額：661,752 円 (5 団体)

【絵本製作】「やまえの花まつり (増刷)」・「ちいさなむらのくりものがたり」

総額：1,848,000 円 ※地方創生推進交付金を活用。

##### ○100 人委員会 部会ごとの活動実績

部会	活動の具体的内容	会員
① 若手農業者部会 部会長：松本聖司 書記：秋丸大輔	・田んぼオーナー制度の導入 (応募:0 件) ・農作物の栽培 (カボチャ・じゃがいも) ・学校給食共食会への参加	8 人
② やまえ栗ブランド 部会長：久保田武久 書記：田山雄貴	・生栗直売 ・栗選別機の制作	13 人
③ 観光・交流 部会長：田村四郎 書記：中竹浩之	・花祭りフットパスの開催 ・フットパスコースの整備・除草作業の実施 ・三平桜周辺の整備 ・観光案内人	26 人
④ 食の提供 部会長：山北早織 書記：尾方恵美	・トキの朝市の開催 (4/28、12/1)	12 人
⑤ 情報発信 部会長：山本浩己 書記：藤本一彦	・Facebook「知ったかぶり!山江村情報ネットワーク」への投稿 ・Instagram「#山江村」を立ち上げ (3/24)	6 人
⑥ 環境・防災 部会長：横山浩之 書記：山本征治	なし	14 人
⑦ 福祉 部会長：川内孝之 書記：深永久美子	・トキの朝市への参加 (4/28・12/1) ・寺子屋の開催 (8/18、12/22)	5 人

⑧ 健康・スポーツ 部会長：藤田雄哉 書記：竹本秀樹	・どろんこサッカーの開催 (6/22) ・えほんの森・夜のおはなし会への参加 ・ボルダリング・スラックライン研修 (12/25・26)	7人
⑨ 文化・教育 部会長：横山理恵 書記：吉川和子	・「ちいさなむらのくりものがたり」の絵本製作	8人
⑩ 商品企画開発 部会長：岩崎 清佳 書記：高橋 かおる	・やまえ栗を使ったスイーツ試作品づくり ・勝栗の試作品づくり ・やまえくり平くん焼印の制作	6人

## ② 山江村観光交流促進協議会

本村に係るヒト、モノ、コトそして情報化戦略をもとに、村民自らが参画した交流ネットワーク組織として、多様な人材と関係機関が連携した観光・交流による観光地域づくりを実現することを目的に設立。フットパス等のイベントの開催や観光パンフレットを製作した。

- ・観光案内人事業：山江村夕暮れフットパス (9/21)、山江村で完走祈願！フットパスとヘルシーランチ旅 (2/15)
- ・栗拾い体験 (9/23)
- ・山江村観光案内人育成等研修会の開催 (10/13)
- ・フットパスイベント：新層奇石コース (11/23)、万江清流コース (1/18)、別府・小山田コース【中止】(2/21・息吹きさん祭りとあわせ開催予定だったが、申込者なし)
- ・フットパスコース等の整備・点検作業
- ・お花見ハイキング【中止】※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため。
- ・観光パンフレットの発行
- ・フォトスタンドの作成
- ・フェイスブックによる情報発信
- ・来訪者アンケート調査の実施 (web アンケート)
- ・もちつき親睦会の開催

(12/1・トキの朝市と同時開催。ついたもちは来場者へ無料配布。)

③ 農家民泊等人材育成事業

宿泊機能の強化を図り、宿泊と地域資源を活用した体験を組み合わせて提供できる仕組みづくりが必要となるため、農家民泊や農家民宿等を行う人材を育成するため事業を行った。

【事業費:800,064円】※地方創生推進交付金を活用。

- ・農家民泊等研修会の開催（2回）
- ・体験モニター事業の実施（期日:R1.9.21-9.22）

④ 人材バンク

個人の持つ能力を村内で活用するため「人材バンク」への登録募集を行った。

⑤ やまえ応援大使

本村の恵まれた自然環境、歴史、文化遺産その他観光資源及び特産品等の魅力を広く発信することを目的に、やまえ応援大使を任命した。任命式は4月14日開催のやまえつつじ祭にて行った。

- ・東京都港区六本木『エディション・コウジシモムラ』

オーナーシェフ 下村 浩司 氏

## 商工観光係

少子高齢化・人口減少が進む中で、人手不足感を克服し、持続可能な経済成長につなげるためには、働き方改革と新技術の導入を同時に進め、生産性の向上と多様な人材の労働参加を図ることが大きな課題である。

このような中、本年度で5年目を迎えたプレミアム付き商品券の発行については、山江村商工会にて事業を実施しているが、村内事業所へ23,971,000円の経済効果が生まれた。

一方、「第15回やまえ栗まつり」については、村制130周年を記念し、9月を栗月間として栗まつりを開催。内容も拡充し、栗づくしのイベントを実施したが、台風接近によりメインとなる祭りは中止となった。

山江温泉「ほたる」・山江村物産館「ゆっくり」の経営状況は、昨年度に引き続き黒字決算となるも、新型コロナウイルスによる利用者の激減により業績が悪化しているため、次年度以降も経営改善に取り組んでいく必要がある。

このほか、特産品の販路拡大を推進するため、特産品等の出展に係る助成、ボンネットバスを活用してのイベント等参加を行った。

本村は観光拠点となる施設及び多くの資源に恵まれた環境にある。人々の交流促進、経済の活性化、観光の振興にはどうしても情報の発信が必要不可欠である。

都市部での催事等に参加し、本村の魅力や観光等のPRを実施。また、各種情報媒体を可能な限り駆使し、観光宣伝活動を実施した（テレビ、ラジオ番組、新聞、雑誌掲載、ホームページ、SNS等）。

### 1. イベント

#### (1) 村制施行130周年記念事業やまえつつじ祭り

ホームページ等に丸岡公園のつつじの開花状況を情報発信し、つつじの名所の魅力と山江村の良さをアピールするとともに、祭りによる交流人口拡大を目指すことを目的としている。130周年を記念して、例年より内容を拡充して開催。

■期日：平成31年4月13日（土）～14日（日）

13日は四半的弓道大会

■場所：丸岡公園一帯（四半的弓道大会：山江村体育館）

■内容：紅白もち投げ、クイズラリー、ヤマメのつかみ取り、演芸大会、  
抽選会キャラクターショー、球磨拳大会、ゆるキャラショー、  
ふれあい広場、ボンバスドライブ

■事業費：2,993,076円

■売上：村内団体 1,032,808円

(2) 村制施行130周年記念事業やまえ栗まつり（第15回）

主要産業である「栗」を活用したイベントを実施し、やまえ栗のブランド力向上をはじめ、生産意欲の高揚や6次産業化を加速させ、販路拡大、交流人口の増加を図ることを目的に開催。130周年記念としてイベントの内容も拡充し、9月1日（日）から30日（月）の一か月間を栗月間とし各種イベントを計画した。しかしながら、台風接近によりメインとなる祭り（出店、栗品評会、スイーツフェスタ等）は中止となった。その他関連イベントについては下記のとおり実施した。

■事業費：5,039,535円（地方創生推進交付金も活用）

■開催期間 令和元年9月1日～令和元年9月30日（月）

■内容 ①やまえ栗スイーツフェスタ

②やまえ栗の品評会

③イガ投げ風船割り

④やまえ栗のつかみ取り

⑤やまえ栗の販売

⑥ボンネットバスドライブ

⑦フォトコンテスト

⑧栗リンピック

⑨レシートラリー

⑩栗の里やまえのフットパス

⑪栗拾い体験ツアー

⑫やまえ栗直売所の開設

⑬くり平関連グッズ作成

⑭栗まんじゅう早食い大会

※①～⑥については、台風17号の接近により開催中止

⑦フォトコンテスト

応募数／携帯写真部門 47点 22人、一般写真部門 25点 11人  
入賞作品数／携帯・一般各部門 5点ずつ  
表彰式／11月17日（日）開催 やまえ産業振興まつり時  
作品展示／11月16日（土）～17日（日）

⑧栗リンピック

応募数 ( )内は受付作品数  
スイーツ部門 10作品（5作品）、料理部門 6作品（4作品）  
工芸部門 29作品（18作品）  
※台風により産業祭に延期したが、日程が合わずに出展できなかった人もいた。

⑨レシートラリー

実施期間 令和元年9月1日～9月30日  
ルール やまえ栗商品をレシートラリー協力店3店舗から購入し、そのレシートを添付して応募  
協賛店舗数 8店舗（ラッキーブランチ、ナチュラル、菓子工房 KANEKO、アントルメ菓儒、プチ・シュン、メゾンド・キタガワ、やまえ堂、物産館ゆっくり）  
該当者 24名  
購入総額 107,956円

⑩ 栗の里やまへのフットパス 実施日：9月21日実施

⑪ 栗拾い体験ツアー 実施日：9月15日は中止（応募者なし）  
9月23日実施

⑫ やまえ栗直売所の開設 実施日：9月8日、29日 9時～12時  
場 所：森林組合前  
売 上：129kg 141,000円

⑬ くり平関連グッズ作成（くり平の金太郎あめ）

⑭ まんじゅう早食い大会 実施日 11月17日（日）やまえ産業振興まつり

2. 温泉ほたる・物産館ゆっくり

山江温泉「ほたる」と物産館「ゆっくり」については、昨年度に引き続き経営改善

に努めた結果、4期連続での黒字決算となった。累積赤字も解消したが、1月に発生した新型コロナウイルスの感染が国内中に拡大したことを受け、国内外における観光客の移動が減少したことで温泉及び物産館での売り上げも比例して減少傾向が続いた。利用者数の回復も含め、更なる経営改革に取り組むよう支援・指導を行う。

■ (株) やまえ

- ・山江温泉「ほたる」宿泊者数 (人)

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
3,839	3,977	4,529	4,389

- ・山江温泉ほたる及び物産館ゆっくり利用者数 (人)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
山江温泉ほたる	86,334	87,887	88,138	75,676
物産館ゆっくり	41,554	41,886	37,501	34,452
計	127,888	129,773	125,639	110,128

- ・売上額 (千円)

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
206,098	197,613	202,029	190,877

- ・当期純利益 (千円)

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
10,001	10,901	4,566	4,295

- ・施設工事

工 事 名	工期	工事請負額
温泉ほたる濾過タンク濾材入替工事	4/12～4/24	1,369,440 円
温泉ほたる設備薬品洗浄工事	4/26～5/24	1,598,400 円
物産館加工所ボイラー入替工事	11/5～2/18	2,178,000 円

### 3. 特産物振興関係

特産である栗のブランディングを行うことで、村民所得と山江村の認知度向上を目指している。

昨年度商談を進めたパティシエ エス コヤマでは、「水ようかん やまえ栗」の商品

化が実現した。このほか、山江村観光交流促進協議会が開催した栗拾い体験には、アジア No. 1 パティシエであるジャニスウォン氏が参加し、SNS にて全世界へ栗拾いの模様が配信された。

(1) 山江村特産品等出店事業助成金交付実績

申請件数 0件

(2) 海山交流事業（対馬市）

① 『第32回いきいき豊玉まつり産業祭』

期日：11月2日（土）から11月3日（日）

場所：長崎県対馬市

参加事業者：(株) やまえ

出店物：栗まんじゅう、栗んとうなどの栗加工品、特用林産物（ニオイヒバ、椎茸、ぜんまい、タケノコ、わらび）など

売上：114,236円

4. 内水面漁業振興に関すること

(1) ヤマメの養殖

漁業振興と地域活性化を目的に、昭和63年度内水面漁業振興対策事業により淡水魚（ヤマメ）養殖施設を整備。

平成16年度からヤマメ生産組合へ施設管理委託を行っている。

(2) ヤマメの放流

ヤマメの放流を行いヤマメの増殖を図ることで、自然豊かな山江村のイメージを向上させる。

放流日：令和元年10月30日（水）

放流稚魚数：2,040匹 放流場所：万江川の各所

(3) 稚鮎放流

昭和45年に球磨川漁協と毎年稚鮎10,000匹を万江川へ放流する稚鮎放流に関する契約を締結。

アユ放流負担金240,000円

放流日：平成31年4月12日（金）

## 5. 丸岡会関係

本村出身者で構成される丸岡会は、山江村の振興策の提言や交流促進を目的に相互の親睦を深め、情報を共有するために開催。令和元年度は、以下のとおり実施。

### ① 熊本丸岡会

期日：令和元年6月9日（日）

場所：熊本ホテルキャッスル

参加者：37名（会員24名、山江村から13名）

やまえくり平参加

### ② 関東地区丸岡会

期日：令和2年2月2日（日）

場所：東海大学校友会館（東京都）

参加者：65名（会員49名、山江村から16名）

## 6. ボンネットバス「マロン号」

本村が所有する山江村ボンネットバス「マロン号」は、本村の観光をはじめ、多岐にわたる振興及び地域づくり活動への参加することにより、山江村の広告塔として活躍しています。令和元年度においては、下記のとおり活動を実施。

日時	参加イベント	場所
4月14日	やまえつつじ祭り	村内
5月12日	花祭りフットパス	村内
7月12日	村内保育園文化体験活動	人吉球磨管内
9月5日	金婚式	村内
9月23日	栗ひろい体験	村内
10月5・6日	くぬぎの丘マルシェ in えびの	えびの市
10月8日	日本一豊かな隠れ里人吉・球磨での心と心が 触れ合う大切な時間を過ごす旅	村内
10月26・27日	くぬぎの丘マルシェ農業公園	熊本市
11月17日	やまえ産業振興まつり	村内
11月23.24日	九州ハンドメイドフェスタ	長崎県
1月8日	フットパス	村内

## 7. 結婚対策

進行する晩婚化や少子化に対応すべく、球磨郡9ヵ町村にて「結婚支援協定」が平成24年4月13日に締結され、広域で連携した支援を行っている。定期的に打合せ会議を開催し、イベントの企画を行った。

また、山江村社会福祉協議会主催によるアルペンローゼ（婚活支援事業）が展開されており、村としても「山江村婚活支援事業助成金交付要綱」を制定し参加費の一部支援を行っている。

### 開催イベント

#### ●球磨郡9町村合同企画 カップリングパーティー

期 日：令和元年12月1日（日）

場 所：福岡周辺

参加者：男性16人（1人）・女性16人（0人）※（ ）は山江村出身者

#### ●アルペンローゼ 神秘的な空間でステキなひとときを

期 日：令和2年2月22日（土）

場 所：鹿児島水族館

参加者：男性8人・女性8人

## 8. 商工業支援

村内の中小企業等の経済活性化を促すため下記の事業を実施。

### ○プレミアム商品券「山江やりくり商品券」発行事業

村内商工業事業所で使用できる共通商品券を発行し、村民の消費需要を喚起し、地元商工業者をはじめ村全体の活性化を図るため、プレミアム付きの商品券を発行する事業に対し、山江村はプレミアムの部分において助成を行った。

事業主体：山江村商工会

プレミアム率：20%

発行総額：2,400万円（消費者負担額2,000万円、村補助金400万円）

## 情報通信係

地上アナログ放送の終了に伴う難視聴地域対策として、平成 22 年 4 月に開局したケーブルテレビセンターは、デジタル放送・BS放送・CS放送に加え村内のイベントや、行政からのお知らせなど、山江村の情報を提供する自主放送を行っている。

また、情報格差の是正として、光ファイバーによる高速インターネットを村内全域で利用できる環境を構築することで、産業経済及び教育文化の向上、村民福祉の増進を図っている。開局より9年が経過し情報基盤通信機器の老朽化が進んでいるため、平成 29 年度より3カ年で機器の更新を行った。また、4K・8K放送の対応等新たな課題が出てきている。

### 1 加入状況

#### ケーブルテレビ

年 月	実質世帯数	加入件数	加入率	備考
平成 31 年 3 月末	1,152	937 件	81.34%	事業所等 54 件
令和 2 年 3 月末	1,143	936 件	81.89%	事業所等 55 件

#### インターネット

年 月	実質世帯数	加入件数	加入率	備考
平成 31 年 3 月末	1,152	268 件	23.26%	事業所等 11 件
令和 2 年 3 月末	1,143	276 件	24.15%	事業所等 11 件

加入状況について昨年度末と比較すると、ケーブルテレビの加入件数については1件の減となっている。世帯数も微減しており、近年加入率は 80%程で推移している。

加入件数と新規の引込件数が増加し新たにケーブルテレビに加入する世帯が増えている。

インターネットについては、加入件数が8件の増、加入率が 0.89%の増となっており、年々増加している傾向にある。

### 2 ケーブルテレビ事業運営状況

#### (1) 使用料、手数料収入

## ○料金設定

- ・基本使用料 1,500円(セットトップボックス1台含む)
- ・セットトップボックス1台 500円
- ・インターネット 2,500円(一般世帯)、4,000円(事業所等)
- ・無線ルータレンタル 100円

## ○令和元年度使用料収納状況

(単位:円)

項目	調定額	収入済額	収入未済額
現年度分	24,735,000	24,500,200	235,500
過年度分	544,670	110,770	433,900
計	25,280,370	24,610,970	669,400

## (2)番組制作

### ○やくばだより

- ・各課から選出の代表者により会議を行い、やくばだよりでお知らせする内容などを検討した。コミュニティチャンネル会議は2週間に1回行い年間12回の開催となった。10月以降はHP・広報・ケーブルの担当者を一元化し2週間に1回の会議を行い情報共有化の強化が図られた。

(毎週土曜日更新の15分番組)

### ○やまえ CATV 情報局

- ・山江村に関するイベントや村内の出来事などを伝えるニュース番組

(毎週土曜日更新の30分番組)

### ○やまえ TODAY

- ・毎日の出来事や翌日のお知らせ、おくやみ等を伝えるニュース番組

平成26年5月より放送を開始した。

15時頃までに撮影できた映像を編集し、その日の18時55分に放送している。

(議会開催日を除いた平日更新の5分番組)

### ○スペシャル番組

- ・体育祭や式典などを30分から2時間程度の長時間で編集した番組

(不定期更新)

### ○その他の番組

- ・テレビ回覧板、テレビ村長室、ドキュメンタリー番組「やまえ NOW」

議会の生中継・録画放送、健康体操、その他緊急放送

### (3) 機器操作等サポート

#### ○サポート状況

- ・加入者からの連絡により毎週数回は加入者宅へ出向いてのサポートを行っている。  
また、休日のテレビ視聴が多いためか土日の連絡が月に数回ある。

#### ○サポート内容

- ・主なサポート内容は次のとおり

##### □テレビが映らない

- ・テレビの入力切替
- ・リモコンのスイッチ切替
- ・テレビや STB 等の電源が入っていない
- ・テレビの移動等による配線間違い

##### □電話がつながらない

- ・電話機の故障
- ・告知端末の不具合
- ・ONU の不具合

##### □インターネットがつながらない

- ・告知端末の不具合
- ・ONU の不具合
- ・無線ルータの不具合

※簡単な操作誤りや、すぐに回復できるケースが多い。

※開局から9年を経過し、宅内機器の経年劣化による故障も目立ち始めている。

※機器の交換など専門性を要するものについては、(有)興和通信と締結している保守の範囲内で実施する。

## 3 ケーブルテレビ業務委託事業

### (1)平成31年度 ケーブルテレビ施設設備維持管理業務委託

事業理由:情報格差の是正、難視聴地域の解消を目的に導入したケーブルテレビ事業の施設設備の維持管理を委託するもので、年間を通じた受信点設備・ケーブルテレビセンター設備保守点検・伝送路設備点検・伝送路保全工事を実施するもの。

委託業者:熊本市中央区萩原町14番45号

株式会社SYSKEN

代表取締役 福元秀典

委託費:7,906,860円

(2)令和元年度 山江村情報基盤通信機器更改業務

事業理由:平成22年のケーブルテレビセンター開設から9年が経過し、センター内情報基盤通信機器を計画的に更新していく必要がある。更新については年次計画に基づき3年間かけて実施した。

(今回3カ年目 平成29年度～平成31年度)

委託業者:福岡市博多区博多駅東2丁目3番1号

株式会社 NTT フィールドテクノ 九州支店

取締役九州支店長 藤原 知孝

委託費:49,073,200円

(3)令和元年度 山江村情報基盤通信機器更改業務(単独)

事業理由:平成22年のケーブルテレビセンター開設から9年が経過し、ケーブルテレビセンターと屋形サブセンターを結ぶメディアコンバーターが経年劣化していることから、更新を行った。

委託業者:熊本市中央区桜町3番1号

株式会社 NTT フィールドテクノ 九州支店 熊本営業所

取締役九州支店長 馬渡 修一

委託費:702,900円